

令和6年度 授業改善推進プラン 5年（課題分析と授業改善策）

| | 課題分析 | 授業改善策 | 改善状況 |
|----|--|---|------|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを相手に伝えるための語彙が少なく、表現力に課題がある児童がいるため、改善策が必要である。 「書くこと」の学習において、書き始めや接続詞など、内容以外に関わる部分に課題がある児童がいるため、改善策が必要である。 | <ul style="list-style-type: none"> 語彙を増やすために、教材文中の意味が分からない語彙を調べる時間を設定する。また、表現力を高めるため、自分の考えを文章に書き表す時間を毎回設定する。 「書くこと」の学習の際には、「なぞり書き」→「書き写し」→「部分的な書き写し」→「材料が用意された上での作文」→「白紙からの作文」のようなスモールステップで型を意識した指導を行う。 | |
| 算数 | <ul style="list-style-type: none"> わり算の筆算で、「割り切れるまで」「一の位までの商を求めてあまりを出す」「上から二桁の概数」など、解答の仕方の区別が付いていない児童がいるため、改善策が必要である。 | <ul style="list-style-type: none"> 朝学習の時間に、東京ベーシックドリルやドリルパーク、計算ドリル等を使い、4年生の学習範囲である「わり算の筆算」から復習を行う。問題演習に取り組むだけでなく、解答の仕方について整理し、習熟を図る。 | |
| 総合 | <ul style="list-style-type: none"> 資料から集めた情報を整理して、目的や意図に応じて内容ごとにまとめたり、取捨選択したりすることはできるが、自分の伝えたいことを明確にして文章にまとめることには課題がある児童が多いため、改善策が必要である。 | <ul style="list-style-type: none"> 伝えたいことを明確にして相手に伝わりやすい構成で文章が書けるように、例文を提示するなどして考えさせる。また、よくまとめられた児童の文章を全体で共有する時間を設定する。 | |